2026年11月13日

各　　位

会 社 名　　株式会社ケイ・ウノ
代表者名　　代表取締役CEO　青木　興一
（証券コード259A　名証ネクスト市場）
問合せ先　　取締役CAO兼執行役員 渡沼　和則
（TEL：080-7638-1240）

# 個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

2026年９月期（2025年10月１日～2026年９月30日）の通期個別業績において、前期実績との間に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2026年９月期通期個別業績と前期実績との差異（2025年10月１日～2026年９月30日）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円　銭 |
| 2025年９月期実績　(A) | 6,498 | 35 | △82 | △79.32 |
| 2026年９月期実績　(B) | 7,319 | 116 | △82 | △78.54 |
| 増減額　(B-A) | 821 | 81 | － | － |
| 増減率　(%) | 12.6 | 228.6 | － | － |

２．差異の理由

売上高につきましては、札幌店移転・横浜本店リニューアルや広告媒体施策による来店の堅調な推移、地金価格高騰を背景としたリフォーム売上の拡大に加え、2026年１月及び４月の価格改定による客単価上昇などにより、ケイウノ国内店舗の売上高が大きく伸長したほか、他企業とのコラボレーションによるOEM（相手先ブランドによる製造）商品の販売が好調に推移したことから、前期実績を上回りました。

経常利益につきましては、原材料価格の高騰により売上原価が増加したものの、売上高が好調に推移したことに加え、経費の効率化が奏功したことにより、前期実績を上回りました。

当期純利益につきましては、経常利益が増加した一方、2026年11月10日公表の「2026年９月期通期業績予想の修正、営業外費用（連結）及び特別損失（連結・個別）の計上に関するお知らせ」に記載のとおり、台湾の持分法適用関連会社における固定資産の減損損失発生に伴い、同社の関係会社株式について、「金融商品に関する会計基準」に基づき評価を行った結果、実質価額の低下が認められたため、関係会社株式評価損100百万円を特別損失に計上したこと、また、同社に対する貸付金等について、関係会社貸倒引当金繰入額47百万円を特別損失に計上したことにより、前期実績並みとなりました。

以上